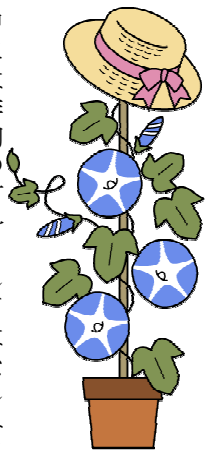


二年	国語	G アップシート	書く2
----	----	----------	-----

組 番・氏名

★体験をもとにして俳句を作ろう

◇俳句について学習した中田さんの学級では、体験をもとにしたオリジナル俳句を作ることになりました。



問一 中田さんは自分の体験をいくつか書き出しましたが、その中には俳句の材料としてはなじみにくいと感ずるものがありました。それをあくオの中から一つ選びなさい。

【身近な体験の中で自分の心の動きをまとめる】

- ア 蛍が夏の夜の山いっばいに光っていて美しかったこと。
- イ 夏バテしていたのに、夜風が気持ちよくて思わず散歩に行ったこと。
- ウ 夏空の雲と干してあるTシャツの白さがよく似ているのに気づいたこと。
- エ テスト勉強をしていたら、母親が夜食を持ってきてくれてうれしかったこと。
- オ 夏休みに珍しく早起したら、もうすでに朝顔は咲いていて驚いたこと。

問二 中田さんは問一のオの経験を俳句にしようと考えました。そこで、俳句の構成のもととするために簡単な文を書きました。次の文の空欄に入る言葉を問一のオから抜き出して書きなさい。

【俳句の構成を工夫する】

(①)は(②)した僕よりもさらに(②)で花を咲かせていた。

(①)は(②)した僕よりもさらに(②)で花を咲かせていた。

①	
②	

◇中田さんは次のような俳句を作りました。

朝顔は僕より早起き花開く

朝顔は僕より早起き花開く

問三 中田さんはこの俳句を推敲して次のように修正しました。どのような観点で修正したかをあくエから選びなさい。

【感動の中心が伝わるように、描写や全体の構成に注意して推敲する】

朝顔は僕より早起き顔上げる

朝顔は僕より早起き顔上げる

- ア 表現をより具体的にして、イメージをはっきりさせた。
- イ 体言止めの技法を用いて、感動の中心を明らかにした。
- ウ 季語が二つあったため、一つにするために言葉を変えた。
- エ 表現に比喩を使うことで、読み手のイメージをふくらませた。

◇中田さんの作った俳句について、蔵本、伊藤、朝倉、中田の四人で次のような話し合
いを行いました。

中田 みんな僕の俳句についてどう思う。
蔵本 全体から夏の朝のすがすがしい雰囲気を感じられるよ。
ただ「起きる」じゃなくて「早起き」としたからかな。
伊藤 「花」を「顔」と表現したのもいいね。朝顔がどんな
表情で咲いていたのか想像すると、楽しい気持ちにな
ってくる。
朝倉 「咲く」を「上げる」と表現したのもいいよ。朝起き
て顔を上げてみるみたいだ。
中田 何か改善点はないかな。
伊藤 そうだなあ、メリハリを付ける工夫があるといいかな。
句切れを作るとか。
朝倉 あと、漢字と仮名の使い分けも工夫すると効果がある
かも。
蔵本 朝顔って言葉を何か違った言葉で言いかえて、読み手
の想像力をふくらませてはどうかかな。
中田 ありがとう。考えてみるよ。



問四 この話し合いは、ある観点にもとづいて行われました。その観点をア～エの中から一つ選びな
さい。

- ア 描写は工夫されているか
- イ 感動の中心は伝わってくるか
- ウ 俳句の形式を守っているか
- エ 文字は適切に書かれているか

【観点を決めて感想を交流する】

問五 この話し合いを受けて、中田さんは次のように俳句を書き直しました。誰の発言を参考にして
書き換えたでしょうか。発言者の名前を書きなさい。

【交流した感想から、自分の考えを広げる】

朝顔や僕より早起き顔上げる

【書く2 体験をもとにして俳句を作ろう】

問一 エ 問二 ①朝顔 ②早起き 問三 エ 問四 ア 問五 伊藤

解説

問一

俳句を作る前に、材料を集めて整理しましょう。自分の心に残っている体験を思い出して、なぜそういう気持ちになったのかを書き出していくといいでしょう。いくつか書き出したら、『季節との関わり』という視点でチェックしましょう。俳句のテーマとするには季節との関わりが必要です。

問二

書く材料が決まったら、すぐに定型（五七五）に入れて考えるのではなく、短い一文にまとめてみましょう。そうすることで書く内容が整理され、定型にスムーズに収めることができます。

問三

定型にまともだったら読み返してみましょう。自分の表現しなかった思いが十分に伝わる作品になっているでしょうか。学んだ表現技法を生かして工夫してみるのも一つの方法です。問題では「花開く」を「顔上げる」という比喩的な表現にするという句風をしています。

問四

感想を交流する際には、観点を決めるとみんなの意見を交流しやすくなります。自分の作った短歌について、工夫したところ、悩んだ所などを観点に意見をもらうと、作品のさらなる工夫につなげることができます。定型や文字等については自分で確認できるのです、表現や構成についてなど、多様な考え方ができる部分を観点とすると参考になります。

問五

感想の交流で得た意見を生かして自分の作品を見直してみましょう。自分の考えにはなかったアイデアが、友達の意見から得られるかもしれません。問題では切れ字を使って句切れを作るというアイデアをもらい、書き直しています。